

さち議員活動報告（議会、委員会）

昨年度は総務委員会において、主に静岡市の財政に関する事・将来、静岡市の広域的な行政のあり方等、勉強させていただきました。
今年度は「生活環境水道委員会」に選任され、議長より生活環境水道委員会副委員長の指名を受けました。

◎「生活環境水道委員会」について簡単に内容を説明します。

- ①生活環境部の所管に関する事
 - I 市民の生活に関する事
 - II 国民健康保険と国民年金に関する事
 - III 環境行政に関する事（例えは、ダイオキシン等環境ホルモンの今後の対策、ゴミ収集と処理、廃棄物の対策）
- ②水道部と下水道部の所管に関する事
 - I 水道部は市民の皆さんに、日本一美味しい水を供給すること
 - II 下水道部は市民の皆さんが、使用した水を浄化すること
 - III そのための建設事業費等について

今回の委員会は、市民と直接関り合いが多いので細かい事柄にも一層、目・耳を傾けていくことが大切だと思います。また、専門的知識が必要になってきますので、しっかりと勉強していきたいです。

さち茂人後援会総会

去る4月28日（金）静岡ベルアージュにおきまして、さち茂人後援会総会が開催されました。

さち茂人の議員活動もちょうど1年ということで、初の後援会総会となりましたが来賓に竹山 裕参議院議員（夫人）、小嶋善吉静岡市長をお迎えして、400名近いご出席をいただきました。厚く御礼申し上げます。

さち茂人本人、テーブルをまわりながら、日頃お世話になっております後援会の方々へのご挨拶、また、久しぶりにお会いする知人の方々との会話を楽しんでいました。

総会は、約2時間におよびましたが、最後まで大変賑やかに行事を進行することができました。

（また、受付等、お手伝いいただきました町内会の皆様、各団体の皆様ありがとうございました。）



「ゴミの処理」…「リデュース」「リユース」を減らさず（前編）

A ねえ、ねえ、知ってる？
Q 突然、何だよ？
A 田町6、7丁目付近で昔、「ゴミ」を埋立てしていたそうなんだ。
Q おっ！今回は、「ゴミ」のお話だね…。田町6、7丁目ってT君の家の近くじゃね？
A 明治33年、汚物掃除法が施行されて、生「ゴミ」は一部肥料用にして、あこの「ゴミ」は田町6、7丁目の湿地で埋立てしてたそうだよ。当時は、民家もほとんど無かったんだろ？
Q それから、どうしたの？
A うん、昭和3年には麻機沼で埋立てが始まった。ここで、20年程続けられた。しかし、八工の大発生と付近の農作物の汚水禍等の問題が起こったんだ。それで、別の場所を探して昭和27年に、小鹿地区の沼地で埋立てが始まったんだけど…。戦後、社会情勢の進展によってビニール、プラスチック等、土にかえりにくい物が増えたり、生活環境の変化により、ここで衛生的な処理方法が求められてきたんだ。

A Q
Q そうだよ。民家も増えてくるし、埋めてばかりじゃね。
A Q
Q そこで、昭和28年、東新田に焼却場を建設したんだ。また、昭和44年には、静岡市の特産品で君も知ってるよね、サンダル。そう、サンダル専用特殊焼却炉も建設したんだ。ちなみに、昭和36年から特装車収集、いわゆる「ゴミ」を集める車が走りだすようになったんだ。
A Q
Q へえー、サンダル専用の焼却炉なんておもしろいね。今でもあればいいのに…。
A Q
Q うーん、現存では専用の焼却炉っていうのも、合理的ではないんだろ？その後、今静岡市にある西ヶ谷清掃工場が建設されて、埋立処分地を西ヶ谷、中ノ郷、富厚里等、市街地から離れた場所に移転したんだ。（※昭和49年、沼上清掃工場が完成。）
A Q
Q 昭和58年、西ヶ谷清掃工場がリニューアル建替工事を行い、一日400tの「ゴミ」を燃やすようになった。また平成7年には、沼上清掃工場が竣工し、一日1600tの「ゴミ」を燃やすことができるようになったんだ、っていうのは静岡市は、一日において1000tの「ゴミ」を燃やすことができるってことだね。
A Q
Q ほおー、すごいよね！1000tの「ゴミ」って想像できないよ。ちなみに、静岡市で一日に燃やす「ゴミ」の量は、平均473tなんだ。一日に1人当り1.1kgの「ゴミ」を出していることになるね。お金の話をすると、1人当りの清掃費（人件費等全部含む）は、

年間13,147円になるんだ。そして、ゴミを処理する原価(収集も含め)は、1t当り26,623円。1kg当り266円と考えると安いと思うかもしれないけど、僕たちは日頃、たくさんゴミを出していることを覚えてほしいんだ。

ふーん、なるほどね。ゴミを処理するのに、一日1,200万円かかるってことか…。スロイ金額だね。僕もいつはゴミを出してんだよね…。気をつけなきゃ。あーそっだ、ゴミをいれれば思いつのが、ダイオキシンとか有害物質のことだけだ、これわらって大丈夫？

ちよっと待って、先にゴミのことをちょっと詳しく話さね。ゴミは、大きくわけて一般廃棄物と産業廃棄物に分けられるんだ。一般廃棄物は、僕たちが普段出すゴミで例えば、紙くず、生ゴミ等で、産業廃棄物とは、プラスチックや鉄くず等19種類の品で、国が法律で定めたゴミのことなんだ。とりあえず、ここでは一般廃棄物について話さよ。一般廃棄物は、さらに家庭で排出されるゴミと事業活動に伴って生ずるゴミがあるんだ。

事業活動によって生じるゴミって、産業廃棄物じゃないの？
うん。通常、会社のゴミ箱に捨てる物が、事業活動に伴って生ずるゴミと考えてほしい。それから、事業所のゴミは、完全有料化として、事業所用の有料ゴミ袋に料金をかけているんだ。
ふーん…、そっだ！家庭から出るゴミの分別について教えてよ。
じゃあ、簡単に説明するよ。

①燃えるゴミ 週2回 ステーション方式
(約10世帯に1ヶ所、市内に約10,400ヶ所)
※市が指定したゴミ袋を使用する！
②燃えないゴミ(粗大ゴミ) 月1回 ステーション方式
(約50世帯に1ヶ所、市内に3800ヶ所)

③資源ゴミ
1 空瓶、ガラス、空き缶、金属類 月1回 ステーション方式
(市内に3500ヶ所)
2 新聞紙等家庭古紙 2ヶ月に1回 ステーション方式
(市内に3500ヶ所)

Q ゴミを集める場所ってたくさんあるんだね。集めるの大変だ。それで、清掃工場で燃やした後はどうするの？
沼上の最終処分場で埋立てられるんだ。でも、この場所も平成18年頃には、いっぱいになっちゃったんだ。
それは、こまっちゃうねー。何か方法はあるの？
対策としては、清掃工場から排出される焼却灰を溶融して(スラック化)、再利用する施設を建設しようという動きがすすんでるんだ。ただ、利用されなければ必要ないものかわ、ゴミは

A

同じになっちゃうけどね。どっちにしろ、新しい処分場を探さなければならぬ。
他にもリサイクル活動しているのかい？
リサイクルについては、次回(地水火風第5号)にお話しするよ。先にダイオキシンの話しなきゃね。えーっと… 静岡市は今、西ヶ谷清掃工場と沼上清掃工場の二ヶ所でゴミを燃やしているでしょ。約900℃から950℃の温度で燃やしているんだ。ダイオキシンは、だいたい700℃くらいで燃やすと多く発生するそうなんだけど…。

おいおい、恐いこと言わないでよ…。ただ何だい？
うん、バグフィルター方式っていうのがあってすでに、新沼上清掃工場では行われている。近々、西ヶ谷清掃工場でもこの方式を使うようになる。
バグフィルターって何なの？

ダイオキシンって、温度が下がるとまた再結合してしまっただ。燃やした灰といっしょに出口や煙突から出ていくうちに、温度が下がるだろ？300℃くらいになった時、またダイオキシンが再結合してしまっただ。バグフィルターっていうのは、ゴミを900℃で燃やして、一気に200℃くらいまで冷却する。その後、このフィルターに通すんだ。すると、ダイオキシンが灰といっしょにフィルターに引っかかってくれるんだ。要するに、結合を抑える方式なんだ。

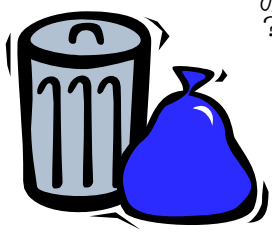
うーん…、何だかよく解かったよな解からなかったよな…。ところで、静岡市のダイオキシン発生量はいくつなの？
新沼上清掃工場がおよそ0.6ナノグラムで、西ヶ谷清掃工場が1.25ナノグラムなんだ。国の規制数値は、平成十四年十二月一日から1ナノグラムに変わるんだ。すると、西ヶ谷清掃工場の数値は、規制以上になってしまっただろ？だから、バグフィルターを取付けて、0.6ナノグラムまでに抑えるように改良するんだ。ちなみに、今現在、厚生省が人体に影響を及ぼすダイオキシン数値は4ピコグラム、ナノグラムに直すと0.004ナノグラム。この数値が本当に大丈夫かどうかは、解からないけどね。
ふーん、でも0.6ナノグラムも決して低い数値じゃないんだね。もっと低くならないの？
……。

A

Q

A

(次号につづく)



今月の佐地クン

静岡市と清水市の議員団サッカーでの一面
右後ろは、宮城島 清水市長です。

編集後記

待ちに待った梅雨も明け、夏の青空の眩しい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか？ 夏・夏・夏…、皆さん夏をイメージしてみてください。そう夏といえば海、海といえば、浜辺で スイカ割り。いやいやそうではありません。そう、夏といえば…砂浜で日焼けを楽しむピチピチギャル…ハァー、いや一目のやり場に困ってしまいます。我々編集部のメンバーも鼻の下をのびしながら、はやくも夏ボケ!? おいおい、しっかりしてくれよー…えへへ。(編集長・気合の一喝!!!?) 皆さん夏ボケには、くれぐれもご注意ください。

ここで夏の二句：夏男くん 浜辺でウロウロ いい眺め！ (字余り)
夏子さん 冷たい視線で 右フック！ (〃)

評価＝ワケのわからないニヒルな？作品に仕上がっています…。

◎新入りα君：{七夕に 想いを込めた ラブレター}

次号もお楽しみに！

平成12年8月吉日発行
発行責任者 林 稔久
編集担当 上條、小泉、島村、田中
静岡市八幡5丁目14-13 TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096